

祥明大學校短期研修に参加して

総合管理学部総合管理学科 2年 谷崎絵梨華

9月5日から12日までの8日間、私は祥明大學校短期研修に参加しました。以前、祥明大學校から熊本県立大学へ来た交換留学生や短期研修団の学生とお話する機会があったので、韓国の文化や流行について様々なことを聞きました。今回、実際に韓国の学生と交流し、韓国の文化に触れて、自分の見聞を広めたいと思い、研修に臨みました。私はホームステイをするのも海外に行くのも初めてだったので、初めは不安や緊張もありました。しかし、ホストファミリーや日本語文学科の学生たちがとても親切で、常に気配りをしてくれたので、非常に楽しい研修となりました。

私のホストファミリーのミンヒさんは、天安キャンパスの近くで一人暮らしをしていました。とても優しい方で、いつも「疲れてない?」「おなかすいた?」「どこか行きたいところはある?」と私に聞いて、気遣ってくれました。日本語があまり得意ではないと言っていて、会話の途中でスマートフォンで翻訳したりしながら、私のことを理解してくれようとして懸命でした。なかなか言葉が通じないこともありましたが、英語や身振り手振りでもよく伝わったときは、本当に嬉しかったです。ミンヒさんの家では、学校やアルバイト、将来の夢について話したり、一緒に日本の音楽を聞いたり、韓国と日本の雑誌を読み比べたりして、楽しい時間を過ごしました。他にも一人暮らしをしているホストファミリーが



いたので、夕食はよくみんなで食べに行っていました。私がとても驚いたのは、韓国の人たちが本当によく食べることです。食事の量も多かったです。昼食や夕食をしっかり食べた後は、ほぼ毎回カフェに行っていたので、私はいつもおなかいっぱいでした。また、韓国では、一つの料理を注文して大勢で一緒に食べたりすることがよくありました。

研修では、祥明大學校で日本語文学科の学生と共に授業を受けたり、観光地へ行ったり、韓国料理体験をしたりしました。私たちが受けた日本の近代文学の授業は、日本人の私にさえ難しく感じられ、意欲的に日本の文化を学ぼうとする祥明大學校の学生に感心しました。景福宮や韓国民俗村では儀式などを見ることができ、今まであまり知らなかった韓国の歴史文化に触れることができました。料理体験では自分たちで実際にキムチとトッポッキを作ったり、試食をしたりしました。このよう

に、研修のプログラムでは、個人で行く旅行などではなかなか経験できないような貴重な体験をすることができました。



韓国は日本のすぐ隣の国で、共通する面がたくさんあります。しかし、食文化、教育や交通、ファッションなどに日本と異なる文化も多く存在します。テレビドラマやインターネットだけでは知ることのできない、そういった面を肌で感じる事ができて、本当に良かったです。そして、その違いを理解し、お互いに認め合うことができたなら良いと思います。

熊本県立大学と祥明大学校の交流は、20年以上続いていると、祥明の学科長の先生からお聞きしました。この長い付き合いの中に私が加わったことは非常に光栄であるし、これから先も両校の関係が続いてほしいと思います。

私は中学生の頃から韓国の音楽や文化に興味を持っており、韓国人の友人をつくるのが小さな夢でした。今回の短期研修で、ミンヒさんをはじめ、祥明大学校の学生と仲良くなれて、この小さな夢を実現することができて本当に嬉しかったです。この出会いを大切に、これからも連絡を取り合っ、交友を深めたいと思います。また、今後も色々な国際交流事業などに積極的に参加し、交流の輪を広げていきたいです。



最初から最後まで、ミンヒさんや他のホストファミリーの学生には本当に親切にいただきました。家でも、学校でも、外出先でも、私たち研修団のために様々な面でサポートして、有意義な研修になるように気遣ってくれました。



たとえ言語が違っていても、思いやりの気持ちは伝わるものだと実感しました。相手を思いやることの大切さが、この研修で学んだ一番のことかもしれません。

8日間韓国で生活し、今までに無いくらい毎日が充実していました。韓国で多くの人々に出会い、共に過ごしたことや、様々な文化に触れて学んだことは、私にとって大きな財産となりました。研修の中でたくさん刺激を受け、私も韓国語を上達させたり、熱心に勉学に励んだりしようと思いました。このような素晴らしい機会を与えてくださった全ての方々に感謝したいです。本当にありがとうございました。